

# 事務事業評価で 税金の使い道を正す

## 事務事業評価とは？

役所の仕事の最小単位は、事務事業といいます。  
住民票の交付、道路整備、福祉サービス、図書館運営など、すべてが「事務事業」という単位で構成されています。  
事務事業評価とは、各事務事業ごとに根拠法令、目的、目標値・実績値、コスト（人件費含）などを明記した1～2ページの評価票を作成し、市民に公開する仕組みです。  
1つの自治体には600程度の事務事業が存在することが一般的です。  
しっかりとした事務事業評価が行われ、公表されていれば、役所が何をして、いくら使っているのか、市民や議員が一目で分かります。

## 岡山市への提案

岡山市で全国の先進自治体と同じように、実効性ある事務事業評価の実施と公開を徹底します。  
これにより、  
✓ムダな事業の削減  
✓議会と市民によるチェック機能の強化  
✓市政への信頼回復  
を実現します。



市民が税金の使い道を知り、議論し、正していける。  
それが健全な民主主義です。

「事務事業評価で税金の使い道を正す」ことを掲げ、岡山市を透明で信頼できる市政へと変えていきます。

# 近藤ともひろ

事務事業評価で税金の使い道を正す党